

創刊15年、北浜の編集室から。

イグザミナ2002年11月号(通巻182号)
昭和63年1月27日第3種郵便物認可
2002年10月15日発行(毎月1回15日発行)

2002-11

映画館鑑賞

イグザミナ
examiner
人に肉薄し、社会を俯瞰する総合誌

◀ Feature 1

▼ Feature 2

大阪カジノ誘致 現実論

谷岡一郎
大阪商業大学学長

EX Report ▶

大阪ミナミの仰天！再開発計画
解散風が吹く中小企業組合の今
駅ビジネス散髪から居酒屋まで
乗客マナーが企業イメジ左右

▼ Big interview

フィリップ・シャティニユ 在大阪・神戸フランス総領事

仕事場拝見!!



バーナーの炎は1300度前後。金属がみるみる真っ赤な液状に。炭素を入れて不純物を飛ばすため、木のスティックでかき混ぜる。



型に押し込むと、一瞬で固まる。一度冷やした後、鉄以外を除く寸前まで再び熱して、水に浸けることで柔らかくなり、後工程が作業しやすくなる。



地金作り。金棒で金属をたたいてのぼす。根気のいる作業だが、しつかりたたけばたたくほど、密度が詰まって固くなる。



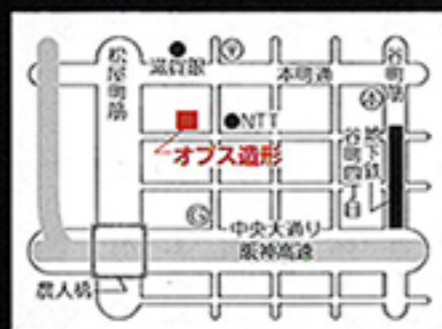
指輪を丹念に磨き上げる。



仕事道具は職人の命。いつも磨かれて、傷一つない。

ロコミで広がるファンは 顧客満足度が高い証

ふだん使いのオーダーメイド



住 所 / 大阪市中央区錦雲町2-4-5 萬里ビル103
電 話 / 06-6910-8729
営業時間 / 10:00~19:00
定休日 / 日・祭日
※臨時休業あり、事前にご電話
交 通 / 地下鉄線谷町線四丁目駅徒歩5分

業者から、古美術の修理を受けることもあり、「困ったときの駆け込み寺状態」なものも、確かな技術力と、豊富な経験ゆえ。使いやすくして大胆。なおかつ他では決して手に入らないジュエリーが欲しいなら、ここ。(藤本佳子)



→アクリルに金箔、異素材を組み合わせたネックレスと、「動き」をテーマにしたネックレス。意外性や遊びが随所にあって楽しい。

↓おしゃれで居心地の良い店内。ディスプレイはすべてお店で。ジュエリーの他に雑貨も販売。陶器やバッグ、など使い勝手が良いのに、一ひねりある品が並ぶ。



↑ミニチュアコレクション 1センチから、2センチに収まる、小さなミニチュア。開閉の出来る携帯電話、プロペラの廻る飛行機と、精緻な細工。ペンダントトップに。

↓お店は白い傘が目印。奥まった場所にあるので、少々見つけづらいかも。眺めるだけでも楽しい店づくりを目指す。水曜日(不定休)に初心者から学べるジュエリー教室(要予約)も有り。

→スカルプチャーリングシリーズ 彫刻をイメージした、重量感たっぷりの指輪。小さな世界にエッセンスを凝縮させた存在感のある「作品」。

オプスの指輪は、市販のものなら、3~5本取れてしまうほどのボリューム。中には、50グラムの重さのものも(一般の商品は3.5グラム程度)。存在感を大切にしているというも納得。



→ポリエステルを使用した透明感と、造形的なおもしろみの腕輪。他に、オーケストラシリーズとして楽器を題材としたものも。作るたびに売れていくので、なかなかオーケストラが完成しないのが悩み。

店内に並ぶジュエリーは、一般の店ではお目にかかれないアート性豊かなデザインが特徴。店頭に出ているものは、ほんの一部。奥からどんどん商品が出てくる。



オプス造形は、無難なだけでは無い、付ける人の「自分らしさ」を演出するジュエリーがオーダーできる。長い人では、二時間から四時間じっくりと話を聞き、会話の中で、相手の好みを感じ取る。その上で、客自身が気づかない個性をうまく引き出し、作品に取り入れる。完成したジュエリーは、年月がたっても飽きがち、不思議な存在感を持つのが特徴。素材は、貴金属の他、塩化ビニール、真鍮、アクリル、金箔、漆と自由自在。一度オーダーすると、気に入って何度も足を運ぶリピーターが多い。

アフターケアも万全。使用しているうちに傷ついたり、曇ったりした表面も、お店に持ち込めば購入時の輝きをとりもどす。修理は儲けにはつながらないが、一生使ってもらいたいという気持ちからのサービス。

指輪のオーダーはシルバーで一万五千円、プラチナは五万円。

なお、古い指輪のリフォームも可能。といっても、貴石を決められた型に入れ直すだけのリフォームではない。フルオーダーと同じく希望のデザインを一から作る。もとの石の魅力を十分に生かしたデザインで、指輪がいい感じに「うまれかわる」。